

は
が



まだ桜は咲いてないので、屋内での「お花見会」となりました

ええな
あ。「家
離れとる
で、ここ
にきたら
大勢と会
えるんが
うれしい
わ。」と参

4月25日(月)、鹿伏公民館で女性20人がふれあいサロンとして、「お花見会」を企画しました。10年前にサロンを始めた頃は、男性も参加されていましたが、今は50〜80歳代の女性の集まりになっています。

鹿伏自治会では、福祉委員が月1回のサロンを計画しています。しかし、12月から3月までは積雪や凍結のためお休みとしていましたので、この日は待ちに待ったサロンの再開となりました。

話すことが、元氣のもと



ぼちぼち、歩いて帰るでな



あたたかいお味噌汁をどうぞ

加者のみなさん。

福祉委員の上山美恵子さんは、「みんなが毎回楽しみに待っていてくれるので、準備するのも楽しみです。」と言われます。

社協では、現在策定中の第2次地域福祉推進計画の中で、高齢者の方々の地域での居場所づくりを計画しています。このようなサロン活動は、まさにその取組みのひとつです。

今後さらにこのような取り組みを強化していきます。

(波賀支部 上田めぐみ)

ち
くさ



三味線に合わせ、懐かしい歌を一緒に口ずさみました

介護の合間に、ほっと一息

介護者の会で花見交流

4月21日(木) 波賀町原にて千種と一宮の介護者の会が交流を兼ね、合同の花見の会を行いました。

今年は例年より気温が低い日が続いたこともあり、一週間ほど遅い桜を楽しむことができませんでした。

「満開やなあ。きれいやなあ、来てよかったわ」



今日の参加者は6名
「もっと大勢来てならよかったのにね…」

「リフレッシュできるなあ」と日頃の介護の疲れも吹き飛ばさず、さわやかでした。

同じ介護をする者同士、嫁や娘など立場は違っても、互いを思いやりながらの意見交換をしたり、参加者から三味線の披露もあり、なごやかに楽しいひと時を過ごしました。

介護の合間にほっと一息できる場所や時間を、今後も提供していきたいと思っています。

(千種支部 小原志のぶ)